

春の当用期真っただ中！多忙の中に商機あり！！

3月号

# 昭和肥料ニュース FAX版



Vol. 007

## ケイ酸と微量元素がなぜ良いか？

前月のニュースで軟弱徒長対策にケイ酸・微量元素の補給をおすすめしたところ、各方面から反響がありました。「何故、ケイ酸が生育に良いのか？」今、注目のケイ酸についての情報をお伝えします。

### ピン！と立ったカッコいい作物は強い！

ケイ酸を吸収した作物は株姿が直立します。水稻のみならず畑作物、果樹でも受光態勢が良くなることで光合成能力が向上する事が知られています。光合成が盛んになると糖度が上がり品質、収量が向上したと感じられる方が多いです。

### 植物ホルモンの生育促進効果も期待！

- ①生長点で作られる植物ホルモンの無駄使いが減り、結果「根への供給が増える」  
(※植物ホルモンは横向きの葉を立たせるために消費されます。  
ヘタった茎葉が減るとホルモンは下位葉以下へ回る余裕ができます。)
- ②植物ホルモンの作用で根張りが良くなる → 根量が増加する。
- ③根で作られる植物ホルモンも増加し、これが地上部の生育を促進することになる。  
つまり、ケイ酸補給で「元気になる好循環が生まれる」というわけです。

### 窒素の暴走（過剰徒長）を抑制する

ケイ酸、各種微量元素、カルシウムなどは窒素の代謝を調整・促進し「つるボケ」や「葉ボケ」防止につながります。強健な生育のためケイ酸とは両輪関係と言えます。

### スタッフ通信

弊社スタッフの近況や  
つぶやきをご紹介します♪

生産部 室井さん に聞いてみました！

石川県の中山間地に在住し水稻生産者でもあります。今回のケイ酸の話に関連し興味深い話をしてくれました。

高温に強い品種は、暑さからお米を守るために「殻が厚い」そうです。この殻を厚くするために、ケイ酸をとってもたくさん食うわけです。天候不順な年ほどケイ酸の効果を実感しているそうです。

わしのところの米は旨いぞ（自慢）と篤農家の顔を覗かせてくれました。



基肥・追肥に好適  
**米助(よねすけ)**

米作りの決定版！  
(畑作にも好適)  
ケイ酸補給と同時に  
各種微量元素も  
省力的・効果的に  
供給できます。



お問い合わせは  
昭和肥料まで FAX

0766-68-1227